

B 案：広場集会施設機能

メンバー：14.長谷川 38.豊崎 39.尾崎

40.入山 記録.渡部

【設定背景】

- ・人間関係が薄くなり始めている
- ・世代間交流の場が少ない
- ・車社会が進展し、子どもを自由にゆっくり遊ばせる場所が減っている
- ・人口減少が活力を失い、街を消滅させてしまう危険性が高い
- ・自由に集まったり気兼ねなく利用できたりする場所を求めている
- ・人々が集まる市場が悪天候の場合機能しにくい

【目的】

1. 多くの人が集うことで人とのかかわりが生まれ、活力のある街となる
2. 世代間交流のある街となる
3. 住民や学生が自由に各々好きなことをすることでにぎわいを増進させる
4. サテライトキャンパスを利用し学生と住民のかかわりを促進させる
5. ビジネスを展開し雇用の促進、定住を図る

【計画】

1. 市場を新舎 1 階部分に設置し、駐車場も含めデッキに覆われていることで悪天候でも市場を展開可能とする
 - ・フリーマーケットや作物販売をし、いつでも人が出入りする
 - ・国際化交流のために英語のみで話すレストランなどを展開する
2. イベントを催す
 - ・子どもの広場はキッズニアのように職業体験もできる場にする
3. 学生がサークル活動で使える場を提供する
 - ・フリーマーケットや軽トラック市場を催す
 - ・学生がフリーマーケットサークルを作り、他学校との交流を図る
 - ・4年生の学生が不要な物をフリーマーケットとして売り出す
4. 高齢者の運動、子どもの遊び、怪我の手当て等学生が指導する
 - ・学生のみでなく住民のカルチャースクールを展開する
 - ・大学の教授の公開セミナーを住民へ行う
5. コミュニティビジネスセンターを設置し、リタイア世代にも活躍してもらう
 - ・ファーストフード店やゲームセンターなどを誘致し学生のアルバイト先や就職先を増やす

【効果】

- 1・天候に左右されない市場とフリーマーケット等で人々が買い物に立ち寄りやすくなり、にぎわいと経済効果が期待される
 - ・日本人のみならず外国人も気軽にいられる場所があることで、外国からの定住民を増やしにぎわいのある街となる
- 2・子どもがのびのびと遊べ、かつ職業体験を通し将来のことを考えるきっかけとなる
- 3・サークル活動の場として提供することで、学生に街へ立ち寄ってもらえる
 - ・一人暮らしをやめる卒業生から不要になったものを売り出してもらうことで、ごみの削減が期待できる
- 4・学生主体で指導することで、学生の勉強となり住民とかかわれるきっかけとなる
 - ・カルチャースクールや公開セミナーを展開することで住民の生涯学習となり、趣味や興味を持つことで生活を楽しむことができる
- 5・力の残っているリタイア世代に活力をもって過ごしてもらうことができる
 - ・卒業生がこの地で就職できることで定住を、在學生はアルバイトができることで暮らしやすくなる

【手法】

- ・大学と街の連携を図る
- ・リタイア世代に子育ての協力を求める